

万代の風

万代コミ協だより第34号

2019年(令和1年)11月10日

万代地域コミュニティ協議会

発行者：丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

=こんなことになるとは思ってもいなかった。大災害にぞなえて=



左：人気のダンボール簡易ベットに寝て体験(200kgの重量に耐える仕様)

左下：婦人部アルファ米の炊きだし準備
万代長嶺地区参加者合計486食分作業



集合、伝達、中央区役所東事務所所長に避難結果の人数などを報告

自分の命は自分で守る
ハザードマップを確認

万代地区防火防犯防災連
合会 長嶺コミュニティ
協議会自主防災会
9月29日(日曜日)
万代長嶺小学校9時開始



アルファ米は以前よりずっとおいしくなりました。



万代地区防連スタッフ



簡易トイレの説明を熱心に聞いてそれでは実習

左：心電手当て包帯の巻き方
右：心電蘇生方法AEDの取り扱
い実習



応急担架を作って、チームでけが人運搬訓練



食推委員のお話

子どもたちの望ましい生活習慣を育成するために、新潟市では「早寝早起き朝ごはん運動」に取り組んでいます。今年も10月19日、小学校で「おはよう朝ごはん料理講習会」を開催し、26人の父兄、子どもたちそして指導してくれる地域の食生活改善推進委員7人の指導を受けながら今日の献立のキーマカレー、ターメリックごはん、きのこスープ、ゴマと甘酒のミルクプリンを調理しました。おいしくいただきました。健康部会

おはよう朝ごはん料理講習会

参加人数 万代地域14町内
229人 長嶺地域16町内
257人 合計486名

訓練項目◆避難誘導訓練◆情報収集伝達訓練◆初期消火訓練◆救出救護訓練◆災害弱者支援訓練◆津波避難訓練◆給食・給水訓練 参加機関：新潟市、社会福祉協議会、中央消防署、消防団、日赤奉仕団

まるの万代ぶつぶつ

～ 戌いの満水 ～

多くの新幹線車両が水没している姿を見て、思い出した言葉である。1742年、千曲川と犀川(梓川)の合流地点で発生した未曾有の大水害で、この年が成年であったことから名付けられた「言い伝え」でもある。小布施町にはその災害を後世に伝える氾濫水位10.7mの「洪水水位標」が建てられている。知るきっかけは、長野盆地の処々に見られた「浸水何m」という標識。我々の街では「海拔何m」が普通だ。調べると、当時の台風による災禍で、長野千曲川だけでなく利根川・荒川・多摩川が一斉に氾濫を起し、被害は東日本全体に及んだと記録され、まさに今回の台風19号を越えるような災害が起っていたのだ。

新潟でも「横田切れ」「木津切れ」等もあり、大正6年の信濃川「曾川切れ」では沼垂で5尺(約1m50cm)の浸水があったと伝えられている。自身でやれることは少ないが、災害を名付けた先人の言葉を思い出し、新潟市が全世界に配布した保存版ハザードマップを、いま一度熟読したい。・・・ もう一度考えよう。防災のことを。丸山 健一

編集後記

万代地区の防災訓練が9月29日終えたばかりの10月6日、台風19号が上陸し各地に甚大な被害の爪痕を生々しく残していった。その後の報道、SNSによる一般からの状況報告など見ていると、訓練は、どうあればこの強大な天災に対処できるのだろうか？

広報委員：田所 暁雄